

平成 30 年度

学生によるオレンジリボン運動

西日本短期大学 実施報告書



実施主体 保育学科 富永ゼミ

実施内容 平成 30 年 10 月 27 日 文化祭にて啓発活動を実施

①事前に取り組んだ内容

- ・児童虐待について勉強会を行い、現状について知り、意識を高めた。
- ・児童虐待について関心を持ってもらうための企画を考案
壁面装飾の要領で、大きな「オレンジリボンの木」を作成
木の葉の形のメッセージカードを作成（児童虐待についての思い）
事前に学生、教職員にメッセージカードを書いてもらい回収

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・事前に集めたメッセージカードを「オレンジリボンの木」に貼って会場壁面に掲示。
来場者にオレンジリボン運動について説明し、オレンジリボンを配付。カードにメッセージを記入してもらい、木の好きな枝に貼ってもらう。
- ※ゼミ生は模擬店等の場所でもオレンジリボンをつけてアピール。

③オレンジリボン運動を終えて…

多くの人に児童虐待を正しく知り、考えて頂きたいと思い、「オレンジリボンの木」を作成しました。先生方や学生から「児童虐待について改めて考えることができた」などの意見をいただき、嬉しく思いました。また、子ども達や外国人の方にも声をかけ、メッセージを書いてもらえました。

この活動を通して、私達自身も児童虐待について深く考え、伝えることができたと思います。多くの方の温かなメッセージを読み、児童虐待のない社会の実現に繋げることができたように思いました。これからもより学びを深め、子育てにやさしい社会を目指していきたいと思ひます。

